建設部

建設委員会

【所管関係資料】

（当日配付）

6月20日提出

令和６年第１回定例会（６月議会）
建設部　提出資料（当日配付資料）

令和６年６月２０日
建　　設　　部

建設委員会
【所管関係】

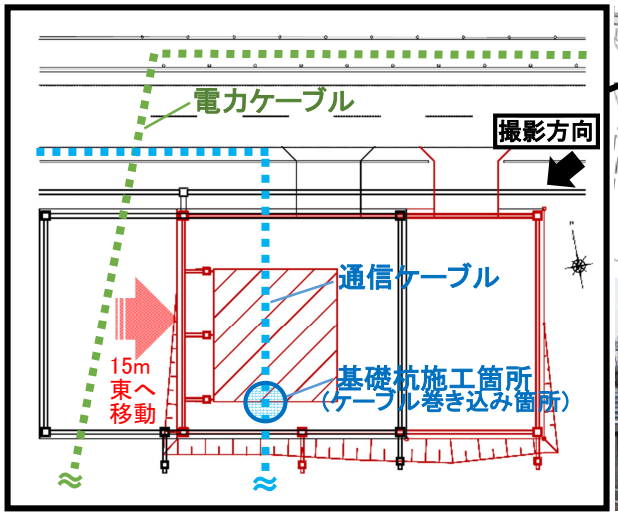
○ 営　　繕　　課　　水防倉庫建築工事における大館能代空港の通信ケーブル断線事故について　　・・・　3

水防倉庫建築工事における大館能代空港の通信ケーブル断線事故について

営　繕　課

1　事故の概要

県発注の水防倉庫建築工事（県単河川改良事業）において、令和６年４月１８日に実施した基礎杭施工時に、敷地内に埋設された通信ケーブルを巻き込んで断線させたことにより、大館能代空港の各施設に通信障害が発生し、搭乗手続きやＷｉ－Ｆｉ等のサービスが停止した。



配置図

水防倉庫建設地（撮影方向より）

2　事故の経緯

令和５年７月	７日	土地造成工事に着手
９月	４日	掘削中に埋設管（電力ケーブル）を発見
９月２９日		造成位置を１５ｍ東に移動させて、造成工事を再開
令和６年３月２２日		土地造成工事が完了
３月２５日		造成現場を建築施工会社に引き継ぎ
４月	３日	水防倉庫の建築工事に着手
４月１８日		杭工事に着手、通信ケーブル断線事故が発生

3　事故の原因

計画、設計、施工の各段階において、工事関係者が通信ケーブルの埋設を予見できなかったことによる。

（１）空港敷地内の埋設物情報管理の不備

県は、重要施設として通常有すべき情報の管理ができていなかった。

（２）埋設物調査の不徹底

県は、埋設物の予見及び請負業者に対する詳細調査の指示ができなかった。

（３）埋設物照会の不備

土地造成業者は、誤った位置で埋設物の照会を行った。さらに、通信事業者からの通信ケーブルに関する埋設情報を見落とした。

（４）埋設物に対する注意不足

建築工事業者は、埋設物を予見できず、自ら調査することなく杭工事を施工し、通信ケーブルを切断した。

4　再発防止策

・施設管理者（建設部所管施設）

多岐にわたる施設情報を再度確認し一覧データとしてとりまとめ、職員がサーバー等を通じ共有できる一元的管理体制を構築するとともに、他者からの照会への対応マニュアル等を整備し職員に周知する。

・発注者

埋設物調査に関するマニュアル等を整備し、研修等を通じて職員への周知を図り、計画、設計、施工の各段階においては、埋設物の照会を受注者に指示するなど、情報の共有に努めることを徹底し、事故の再発防止に万全を期す。